



訂 函 知 下 摩 臣 所  
下 目 一 番 也  
以 内 信 致 候 事

河内言致候事

尾崎

五月廿一日



花紙入すゝ為由なり。河内田中より致候事の  
いふは、其書の用紙がゆい。いふ書が、ア、イ、ウ、



日本経済新聞 四月十三日

某月某日

雄久間本

神田駿河台の古書会館にゆく。岡田文庫入札下見の招待を受けてははなり。陳列されたもの、慶長頃の写本にて下野吉田家旧蔵本と伝えらるる「古事記」「先代舊事本紀」を始め、西鶴の「二代女」「近代艶聞者」その他感書家の垂せんおおく能わざる種書多し。

の頃の文壇のことと共に、紅葉が初めて、西鶴の「男色天鑑」を讀みたる折の感想を記せり。「いやどうとくへぬあんばい。此花は浪花に定まりたるものなり」の一句の如き、紅葉がいかに西鶴に讀仰を寄せたるかを知るべし。  
札元に、入札の價を問えば壹万三千ならでは落ちさるべしという。しばしちゅうちよの後、ともかくも依頼す。かえる途すがら蜀山を學べる紅葉の、くせのある眞事なる筆の跡、眼につきて離れず。(且大教授)

二十一年四月六日東京古書會館にて催す  
入札賣立にてあかあり得しもの



45 50 55 60 65 70 75 80

昭和三十年四月六日東京古書會館にて催ふところ  
岡田文庫入札賣立にてあかあし得しもの



13日 (次曜日)

NHK

7:4

15 録音機成 [附石長の間  
で生活して] 樹川静子  
0 英語講座 [トマソフ] 初  
0 英語講座 [英語講座]  
30 大ロキの花かご [三  
0 フランス語中級講座  
0 東京大学 [社会思想史]  
0 木村重雄  
45 無言の愛 [地獄] 特別電  
0 藤美の時間 特別電  
0 藤美の時間 特別電  
0 藤美の時間 特別電  
0 藤美の時間 特別電  
30 藤美の時間 特別電  
30 藤美の時間 特別電  
30 藤美の時間 特別電

日本経済新聞 四月十三日

某月某日

雄 久 間 本  
お ひさ ま ほん

神田駿河台の古書会館にゆく。岡田文庫入札下見の招待を受けてればなり。陳列されたるもの、慶長頃の写本にて卜部吉田家旧蔵本と伝えらるる「古事記」「先代舊事本紀」を始め、西鶴の「二代女」「近代艶隠者」その他愛書家の垂ぜんおく能わざる稀世書すこぶる多し。中に明治文人の手稿手柬の類数種あり。その中にて特に余が眼をひけるは内田魯庵宛尾崎紅葉の手柬なり。明治二十二年五月にものせるもの。半紙二葉に、そ

の頃の文壇のことと共に、紅葉が初めて、西鶴の「男色大鑑」を読みたる折の感想を記せり。「いやどうといへぬあんばい。此花は浪花に定まりたるものなり」の一句の如き、紅葉がいかに西鶴に讃仰を寄せたるかを知るべし。札元に、入札の値を問えば壹万二三千ならでは落ちざるべしという。しばしちゅうちよの後、ともかくも依頼す。かえる途すがら蜀山を学べる紅葉の、くせのある見事なる筆の跡、眼につきて離れず。(早大教授)

庫 十 五